Workshop

いけばなワークショップ

日本古来の風習をふまえ、野山にあるかのように自然を写す作風で知られる石草流（せきそうりゅう）のいけばな。今回は石草流家元の奥平清鳳先生をお招きし、野の花を用いたいけばなのワークショップを開催しました。

前日から降り続いた雨のため、残念ながら当初予定していた二期の森のなかでの草花の採取は出来ませんでしたが、当日は庭内や近隣から切り出したばかりの見事な花材がふんだんに用意されました。

まずは自由に生けてみましょう、という先生の言葉に励まされ、今回が初めてという参加者の方々も、好きな花材を思い思いに生けていきます。今回は花器も専用のものを使うのではなく、日常に使用している食器を花器に見立てて用いました。庭内の自然石を花留にして、彩りや釣り合いを考えながら、花材を組み合わせていきます。

ある程度姿が出来上がったところで、先生が解説しながら手直ししていきます。先生が一か所鋏を入れただけで、自分の花が全く印象の異なる花になるのを見て、参加者の方々から歓声がこぼれます。余った花材を大切に生かして、もう一つ小さな花を生ける方の姿も見られます。既に決められた型に当てはめるのではなく、花や枝の持つ自然の美しさを生かして表現する石草流のいけばな。夏の可憐な野の草花にふさわしい、爽やかなワークショップとなりました。